

鈴子広場の整備概要

1. 背景

・東日本大震災後、仮設店舗用地となっていた鈴子広場を復旧し、街中における市民の憩いの場及び子ども達の遊び場を確保するために整備した。整備にあたり、3回のワークショップを開催し、子育て世代の方々や子どもの意見を吸い上げ、設計業務に反映させました。

2. ワークショップから見た課題

- (1)子ども達の遊び場の不足
- (2)休憩施設の不足
- (3)駐車場が未整備
- (4)施設の老朽化や利用状況の変化
- (5)バリアフリーへ非対応
- (6)防犯面の懸念

3. 整備概念

・市内全域から集える利便性の高い場所に位置する市内全体の「まちなかの遊び場」として、広域的な利用を想定した。市内外からの利用呼び込めるような魅力ある施設と駐車場を整備する。設置する遊具については障がいの有無に関わらず幅広い年齢の子どもと一緒に遊ぶことのできるインクルーシブ遊具を設置し、楽しい遊びの時間を共有することで多様性を自然に受け入れ、人と人とのつながりが生まれる広場となることを目指す。

4. 主な整備内容

○遊具

- ・ツインサウンドボウルテーブル（インクルーシブ遊具）
- ・オムニスピナー（インクルーシブ遊具）
- ・プレイポートワンダーインクルーシブ（インクルーシブ遊具）
- ・クライムステーション
- ・ザイルネット
- ・ロッキング遊具
- ・トンネル

○施設

- ・トイレ
- ・東屋
- ・ミスト
- ・バスケットゴール
- ・駐車場（乗用車、障がい者用、中型車）
- ・駐輪場
- ・多目的デッキ

○その他

- ・フリーwi-fi
- ・ダスト舗装



ツインサウンドボウルテーブル



オムニスピナー



プレイポートワンダーインクルーシブ

鈴子広場 レイアウトイメージ

